

代理人運動・ネットをもっと広げよう！

// 改めて「市民ネットワーク」とは //

市民ネットワークは生活クラブの中から生まれた政治団体です。生活クラブって「ほしいものが無いならつくりよう」という考え方の組織ですよね。安全な食べ物がほしい、でもなかなか手に入らない、「それなら安全な食べ物が手に入る仕組みをつくりよう」そしてこんなに大きい生活クラブ生協が全国にできたのですよね。

「まち」の中に問題をいっぱい感じるけれど、それを解決する手段がない、「それなら「まち」を変える仕組

みをつくろう」ということで、生活クラブの活動者が集まって代理人運動が始まりそのための組織であるネットワークをつくりました。最初は東京が「生活者ネットワーク」という組織を、次に神奈川で「神奈川ネットワーク運動」という組織を、少し遅れて埼玉では1990年に初めて越谷で越谷市民ネットワークが誕生し、1997年にそのような地域ネットが集まって「埼玉県市民ネットワーク」が生まれました。

// どうして議員のことを代理人って呼ぶのか //

市民ネットワークでは、「議会」に議員を送り込みます。そして普通の議員後援会のように「さあ、当選してよかったです、後はお任せするね、頑張ってね」ではなくて「私たちも一緒に予算書をチェックしたり、問題を掘り起こしたり、調査したりするわ。それをあなたが議会に

持って行ってね。あなたは議会へ行く人、私たちは一緒に活動する人」という考えです。だから議員を自分たちの代理で発言する人=「代理人」と呼ぶのです。

お任せの政治がいかに怖いかは、過去の歴史を見ればゴロゴロ例がありますよね。

// 3つのルールを大切にする理由 //

代理人運動では3つのルールを決めています。他の政党にはないルールで、これが信頼を集めます。利益政治とは相いれないルールだからです。

1. 選挙はカンパとボランティア
2. 議員はローテーション
3. 議員報酬はみんなの活動費

お金持ちや地元の人が田んぼ1枚を売って選挙資金にする、昔はそんなやり方多かったのですが、ネットでは候補者はお金を用意しないでも誰でも選挙に出られま

す。カンパとボランティアでやり切るからです。そして議員は1人の人が20年、30年もやるのはなくローテーションし、そうすることで、お任せの政治にならないようにします。埼玉県ネットでは最高で3期12年までと決めています。みんなで行う調査や学習会などの活動費は議員報酬を使います。

意志さえあれば政治活動ができるしくみを、3つのルールが保障しています。

// 埼玉でもっと広げよう //

昨年の衆院選は日本の将来が心配になるような結果でした。しかし国政がどうなるかと地道な民主主義が地域に深く広く広く、浸透していれば、簡単には社会が悪い方向に変わったりはしません。

// 埼玉の地域ネットの仲間 //

越谷市民ネットワーク 生き活きネットワーク鴻巣 市民ネットワーク所沢 まちネット寄居
ネットワーク三芳 市民ネットワーク鶴ヶ島 よしかわ市民ネットワーク はにゅう市民ネットワーク
さやま市民ネットワーク準備会 くまがや市民ネットワーク準備会
飯能市民ネットワーク準備会 日高市民ネットワーク準備会

埼玉県市民ネットワーク通信

いっしょにやる！おんとがある！
自分発 ごもくらしー！



2022年11月発行 64号

2023統一地方選で代理人を増やしもっと住みよい埼玉に

来年の4月には戦後20回目の統一地方選が行われます。全国の多くの自治体で知事選や市長選が行われるほかに、41の道府県で道府県議選挙が行われます。埼玉でも県議選と20市での市議会議員選挙が行われます。

その選挙に擁立する計7名の候補予定者が決まりました。候補を選考中のネットも複数あります。2023埼玉県ネット政策「つながる 共に生きる 私たちのまち」みんなで実現するためにみんなで頑張ります。

候補予定者紹介

①年齢 ②現職 ③経歴 ④力を入れたい政策



辻 こうじ

越谷市民ネットワーク



山田 ゆう子

越谷市民ネットワーク



清水 泉

越谷市民ネットワーク



大田 ちひろ

越谷市民ネットワーク



さいとう 万紀子

はにゅう市民ネットワーク



丸橋 ユキ

さやま市民ネットワーク準備会



成田 菜緒子

生活クラブ狭山ブロック役員2年目、6人の子どもの母親業、NPO役員

③生活クラブ日高支部委員長